

CASBEE_Sapporo2014v1.2
KKR札幌医療センター(仮称)健康管理センター棟

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
実施設計段階		重点評価項目				建物全体・共用部分				
配座項目		A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<p>Q 建築物の環境品質</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>1 音環境</p> <p>1.1 騒音</p> <p>1.2 遮音</p> <p>1 開口部遮音性能</p> <p>2 界壁遮音性能</p> <p>3 界床遮音性能(軽量衝撃源)</p> <p>4 界床遮音性能(重量衝撃源)</p> <p>1.3 吸音</p> <p>2 温熱環境</p> <p>2.1 室温制御</p> <p>1 室温</p> <p>2 外皮性能</p> <p>3 ゾーン別制御性</p> <p>2.2 湿度制御</p> <p>2.3 空調方式</p> <p>3 光・視環境</p> <p>3.1 屋光利用</p> <p>1 屋光率</p> <p>2 方位別開口</p> <p>3 屋光利用設備</p> <p>3.2 グレア対策</p> <p>1 屋光制御</p> <p>2 眩り防止対策</p> <p>3.3 照度</p> <p>3.4 照明制御</p> <p>4 空気質環境</p> <p>4.1 発生源対策</p> <p>1 化学汚染物質</p> <p>2 浮遊粒子状物質</p> <p>4.2 換気</p> <p>1 換気量</p> <p>2 自然換気性能</p> <p>3 取り入れ外気への配慮</p> <p>4.3 運用管理</p> <p>1 CO₂の監視</p> <p>2 喫煙の制御</p>										
<p>Q2 サービス性能</p> <p>1 機能性</p> <p>1.1 機能性・使いやすさ</p> <p>1 広さ・収納性</p> <p>2 高度情報通信設備対応</p> <p>3 バリアフリー計画</p> <p>1.2 心理性・快適性</p> <p>1 広さ感・景観</p> <p>2 リフレッシュスペース</p> <p>3 内装計画</p> <p>1.3 維持管理</p> <p>1 維持管理に配慮した設計</p> <p>2 維持管理用機能の確保</p> <p>3 衛生管理業務</p> <p>2 耐用性・信頼性</p> <p>2.1 耐震・免震</p> <p>1 耐震性</p> <p>2 免震・制振性能</p> <p>2.2 部品・部材の耐用年数</p> <p>1 躯体材料の耐用年数</p> <p>2 外壁仕上げ材の補修必要間隔</p> <p>3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔</p> <p>4 空調換気ダクトの更新必要間隔</p> <p>5 空調・給排水配管の更新必要間隔</p> <p>6 主要設備機器の更新必要間隔</p> <p>2.4 信頼性</p> <p>1 空調・換気設備</p> <p>2 給排水・衛生設備</p> <p>3 電気設備</p> <p>4 機械・配管支持方法</p> <p>5 通信・情報設備</p> <p>3 対応性・更新性</p> <p>3.1 空間のゆとり</p> <p>1 階高のゆとり</p> <p>2 空間の形状・自由さ</p> <p>3.2 荷重のゆとり</p> <p>3.3 設備の更新性</p> <p>1 空調配管の更新性</p> <p>2 給排水管の更新性</p> <p>3 電気配線の更新性</p> <p>4 通信配線の更新性</p> <p>5 設備機器の更新性</p> <p>6 バックアップスペースの確保</p>										

CASBEE_Sapporo2014v1.2 KKR札幌医療センター(仮称)健康管理センター棟		重点評価項目		A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理	
スコアシート		重点評価項目		A		B		C		D	
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体					
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q3 室外環境(敷地内)											
1 生物環境の保全と創出											
2 まちなみ・景観への配慮											
3 地域性・アメニティへの配慮											
3.1 地域性への配慮、快適性の向上											
3.2 敷地内温熱環境の向上											
LR 建築物の環境負荷低減性											
LR1 エネルギー											
1 建物外皮の熱負荷抑制											
2 自然エネルギー利用											
3 設備システムの高効率化											
3.1 集合住宅以外の評価(3a.3b)											
3.2 集合住宅の評価(3c)											
4 効率的運用											
4.1 集合住宅以外の評価											
4.1.1 モニタリング											
4.2 運用管理体制											
4.1 集合住宅の評価											
4.1.1 モニタリング											
4.2 運用管理体制											
LR2 資源・マテリアル											
1 水資源保護											
1.1 節水											
1.2 雨水利用・雑排水等の利用											
1.2.1 雨水利用システム導入の有無											
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無											
2 非再生性資源の使用量削減											
2.1 材料使用量の削減											
2.2 既存建築躯体等の継続使用											
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用											
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用											
2.5 持続可能な森林から産出された木材											
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み											
3 汚染物質含有材料の使用回避											
3.1 有害物質を含まない材料の使用											
3.2 フロン・ハロンの回避											
3.2.1 消火剤											
3.2.2 発泡剤(断熱材等)											
3.2.3 冷媒											
LR3 敷地外環境											
1 地球温暖化への配慮											
2 地域環境への配慮											
2.1 大気汚染防止											
2.2 温熱環境悪化の改善											
2.3 地域インフラへの負荷抑制											
2.3.1 雨水排水負荷低減											
2.3.2 汚水処理負荷抑制											
2.3.3 交通負荷抑制											
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制											
3 周辺環境への配慮											
3.1 騒音・振動・悪臭の防止											
3.1.1 騒音											
3.1.2 振動											
3.1.3 悪臭											
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制											
3.2.1 風害の抑制											
3.2.2 砂塵の抑制											
3.2.3 日照障害の抑制											
3.3 光害の抑制											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策											
3.3.2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策											